

2001年3月27日

ソニー株式会社
株式会社東急ケーブルテレビジョン
東京急行電鉄株式会社

ソニー、東急が次世代型CATVインターネットサービスの提供で合意

ソニー株式会社（以下、ソニー）、東京急行電鉄株式会社（以下、東京急行）ならびに株式会社東急ケーブルテレビジョン（以下、東急ケーブル）の3社は、東急ケーブルのネットワークを使って、本年秋から順次、次世代型CATVインターネットサービスを提供していくことで合意致しました。この合意に伴い、東急ケーブルが発行する5%分の新株をソニーが取得します。

ブロードバンド・インターネットをめぐる通信環境は、ADSLやFTTHなど急速な広がりを見せつつあります。その中でも、CATV網を活用する常時接続のCATVインターネットの普及も大きく広がりつつあります。今回のソニー、東京急行、東急ケーブルの3社の合意は、急速に拡大するCATVインターネットのユーザーに対し、メガクラスの大容量・高速通信を実現し、新規のブロードバンドコンテンツ・サービスを提供する次世代型インターネットサービスの実現を図るものです。さらに将来的には、家庭におけるパソコン以外のインターネット端末への接続環境も整備して参ります。

これに向け、東急ケーブルはソニーのリーダーシップのもと、ネットワークの効率的利用を可能にするマルチキャスト配信環境整備、課金・認証・顧客管理等のシステム開発などに取り組みます。また、従来東急ケーブルの放送で使われていないケーブルインフラの周波数帯域部分を活用して、メガクラス規模の高速配信環境の構築を目指します。さらに、東急ケーブルは、上記の実現に向け、AII株式会社（以下、AII）に次世代型CATVインターネットの接続サービス（ISP）業務の設計・構築・運用および、既存ISP業務に関するバックボーン接続、システムインテグレーション、将来に向けた改善を委託します。AIIはCATV事業者と、ブロードバンド・インターネットをコンテンツと結びつけるISPサービスの提供を進めており、コンテンツ・サービス提供と併せ、エンタテインメントにあふれた次世代型CATVインターネットサービスの実現を東急ケーブルと協力して目指すこととなります。

CATV網というすでに広範囲に敷設されたインフラを活用して東急ケーブルが構築していく次世代型CATVインターネットサービスは、CATV業界のみならずADSLやFTTHなど他の通信インフラを使ったインターネットサービスの先駆けになるものと確信しています。

* AII 株式会社

ソニー株式会社、東京急行電鉄株式会社、関西電力株式会社、伊藤忠商事株式会社等10社が出資する、ブロードバンドインターネットに適したコンテンツ/サービス配信を行う会社。今春、全国33局のCATV事業者へ配信を行う予定で、2001年度中には100局（100万世帯）への配信を目指す。